


# 5 大学連携 医療フォーラム

テーマ「がん患者や家族の視点を反映した教育内容」

開催日時

令和3年9月3日(金) 14:10~17:50 [所要時間 220分]

開催方式

オンライン開催 (Zoom利用によるWeb配信) 

申込方法

右記googleフォームよりお申込みください。  
事務局よりZoom接続IDをお送りします。

<https://forms.gle/V1MjKbPz3BfE55x6>



申込締切

9月1日(水) 15:00

総合司会 京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 助手 冢瀬 諒

開会の挨拶 14:15

京都大学大学院 医学研究科 腫瘍薬物治療学 教授 武藤 学

第Ⅰ部

特別講演 14:20

司会 京都薬科大学 臨床薬理学分野 教授 中田 徹男

AYA 世代がんを通じたがん医療人の養成

国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科 診療科長  
がん総合診療センター 副センター長 清水千佳子

第Ⅱ部

がんプロ履修生による研究成果発表 15:05

司会 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 中村 暢彦

腫瘍細胞の B7-H3 は CCL2-CCR2 経路により誘導される  
M2 マクロファージの免疫抑制に関与し、卵巣癌増大に寄与する

京都大学 (婦人科腫瘍におけるゲノム医療従事者養成コース)  
博士課程 4年 宮本 泰斗

マウスサイトメトリーを用いた  
小児白血病の多角的な腫瘍免疫環境解析

京都大学 (小児と AYA 世代のがんの新規診断・治療法  
開発を目指す医療人養成コース) 第3期がんプロ履修生 三上 貴司

BNCT (ホウ素中性子捕捉療法) におけるホウ素化合物の  
不均一分布を考慮した線量計算法の検討

京都大学 (希少がん及び小児がんに対する放射線治療を担う  
人材養成コース) 博士課程 4年 武野 慧

AYA 世代がん患者の研究を通して学んだ多角的な視点の重要性  
~ニーズおよび QOL に関して~

京都大学 (がんの病期やライフステージに対応した戦略を構築  
できるリハビリテーションスタッフの養成) 修士課程 2年 篠原 有紀

シュワン細胞に着目したタキサン系抗がん薬誘発末梢神経障害の  
機序解明およびドラッグ・リポジショニングによる新規治療薬の探索

京都大学 (ライフステージに応じた高度ながん薬物療法および支  
持療法を推進するがん専門薬剤師養成コース) R3 年 3 月修了生 小柳 円花

肺部分照射デバイスを用いた  
放射線肺臓炎・肺線維症モデルマウスの構築

三重大学 (ライフステージに応じた放射線治療・集学的  
診療を実践する人材養成コース) 博士課程 4年 大森 千輝

中枢神経系原発悪性リンパ腫 (PCNSL) 患者における  
High dose Methotrexate の母集団薬物動態解析

滋賀医科大学 (ゲノム情報に基づく個別化がん薬物療法を  
担う薬剤師養成コース) 博士課程 3年 磯野哲一郎

5 大学連携 学生短期研修プログラムに参加して

大阪医科薬科大学 (ライフステージに応じた化学療法  
専門医養成コース) 博士課程 4年 児玉 紘幸

浸潤・遊走を標的とするクマリン系化合物を基にした  
がん転移抑制薬の創製

京都薬科大学 (ライフステージに応じた個別化がん治療における  
全人的医療に貢献するがん専門薬剤師養成コース) 博士課程 3年 杉山 雄輝

膠芽腫幹細胞に対する新規アセトゲニン誘導体  
JCI-20679 の作用機序の解明

京都薬科大学 (ライフステージに応じた個別化がん治療における  
全人的医療に貢献するがん専門薬剤師養成コース) 博士課程 3年 安藤 翔太

第Ⅲ部

各大学の取組と成果について 17:10

司会 京都大学大学院 医学研究科 腫瘍薬物治療学 教授 武藤 学

京都大学大学院 医学研究科 放射線腫瘍学 画像応用治療学 教授 溝脇 尚志

三重大学大学院 医学系研究科 先進がん治療学講座 先進がん治療学 教授 野本 由人

滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 教授 醍醐弥太郎

大阪医科薬科大学 化学療法センター長 特務教授 後藤 昌弘

京都薬科大学 臨床薬理学分野 教授 中田 徹男

閉会の挨拶 17:45

京都薬科大学 臨床薬理学分野 教授 中田 徹男